

あなたへのメールコンテスト報告書

コンピュータとインターネットの特性を活かして
それぞれの思いを伝えよう



平成21年2月10日
毎日パソコン入力コンクール

1. 概要

第Ⅲ類は、パソコン入力によって行われる情報発信をテーマにしています。発信の種類としては意見発表、新聞作り、ホームページ作りなどが挙げられますが、第8回大会トライアルとしては、「電子メール」による情報発信能力を競います。

「あなたへのメールコンテスト」と題し、競技は、予選大会と、予選通過者による全国大会を実施し、優秀な生徒を表彰します。

2. 目的

「あなたへのメール」を審査、表彰し、コンピュータによる情報発信への取り組みを普及させることを目的としています。

また、コンテストにテーマを設け、メール作成を通してそのテーマについて考える機会を提供したいと思います。今回のテーマは「命を考える」としました。

3. 参加資格

<予選大会>

中学生

<全国大会>

予選大会通過者15名

4. 募集方法

毎日パソコン入力コンクールに参加している中学校、各種団体、個人にメールなどで告知。事前申込み不要。参加時に氏名など登録。11月28日（金）告知・募集開始。

5. あなたへのメールコンテスト実施内容

<予選大会>

(1) 実施日時

平成20年12月15日（月）正午～12月19日（金）18:00まで

結果発表は12月24日

(2) 競技方法

① 参加者は、競技参加サイトにアクセスし参加登録をする。

（予選期間中いつでも参加可能。ただし参加は一回限り）

② 今回のテーマである「命を考える」に関連したメールを受信し、返信メールを作成して送信する。（文字数は自由）

※書式は自由。文章は未発表のオリジナルなものに限る。

※優秀作品はホームページなどで公開。

※パソコンの機能を活用する意味で、インターネット辞書、電子辞書などは使用可能。

<全国大会>第9回全国中学生創造ものづくり教育フェア全国大会で行う

(1) 実施日時

平成21年1月25日（日）

受付時間 9:20～9:40

競技時間 9:45～10:15

(2) 会場

Theatre1010 (シアターセンジュ) JR常磐線北千住駅西口

千住ミルディスI番館 (デパート丸井) 10階 (アトリエ)

〒120-0034 東京都足立区千住3-9-2

電話. 03-5244-1010

ホームページ www.t1010.jp

(3) 競技方法

- ① テーマに沿ってメールを作成し送信する

(字数は自由)

- ② 審査員が審査を行い優秀なものを表彰する

※競技時間は30分。

※書式は自由。文章は未発表のオリジナルなものに限る。

※メールの編集はコピーペースト機能を活用可能。携帯電話の使用は禁止。メモ、電子辞書、辞書などは使用可能。

※優秀作品はホームページなどで公開。

(4) 審査員

文部科学省初等中等教育局 教育課程課 参事官付 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

上野 耕史

明星大学人文学部教授

岡本 富郎

毎日パソコン入力コンクール 運営顧問、元毎日新聞社紙面調査委員

文書表現講座講師 (東海大学短大、書写検専修学園)

谷口 泰三

毎日パソコン入力コンクール運営副委員長

日本パソコン能力検定委員会会長代理

吉田 真

※平成21年1月25日(日) 10:30～12:00に審査を行いました。

6. 審査

(1) 審査の観点

<予選大会>

A. 感動・応答点

- ① 差出人の気持ちを受け止めている
- ② テーマについて真剣に受け止めている
- ③ 自分の思いを的確に伝えている

<全国大会>

A. 感動・発信点

- ① テーマについて主体的にとらえている
- ② 自分の思いの深さが表現されている
- ③ 自分の思いを的確に伝えている

B. 技術点<予選大会、全国大会共通>

- ① 情報モラルへの配慮（個人情報の取扱い等）
- ② 情報通信ネットワークの活用（レイアウト、記号など）
- ③ 入力技能（日本語入力の正確さ）・・・変換、誤字、脱字など

(2) 審査方法

観点ごとに以下の4段階で審査し、その合計で順位をつける。

4 = 大変よい

3 = よい

2 = できている（普通）

1 = あまりできていない（もう一歩）

7. 特別賞

「毎パソコン大賞」などの特別賞を授与します。

8. 表彰（競技会場で実施）

(1) 結果発表・部門閉会式・表彰式

平成21年1月25日（日） 12:00

(2) 全体閉会式・表彰式

平成21年1月25日（日） 13:30

9. 参加費

無料



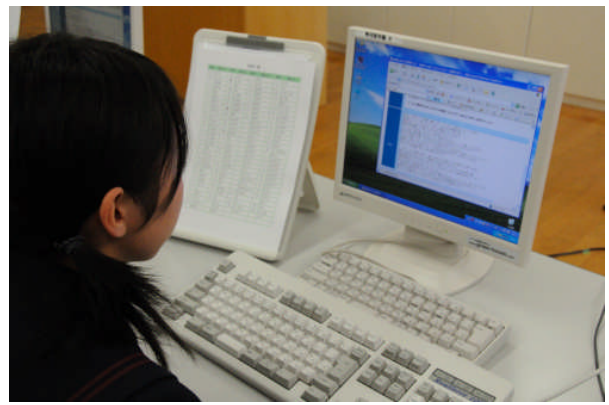
競技開始を待つ参加者

10. 全国大会参加者

No	氏名	フリガナ	県名	学校名	学年
1	内木 まどか	ナイキ マドカ	愛知県	扶桑町立扶桑北中学校	2年
2	田中 碧	タナカ ミドリ	茨城県	稲敷郡阿見町立朝日中学校	1年
3	和田 綺華	ワダ アヤカ	茨城県	神栖市立神栖第一中学校	3年
4	山口 小百合	ヤマグチ サユリ	茨城県	神栖市立神栖第一中学校	3年
5	前田 美沙	マエダ ミサ	宮城県	登米市立津山中学校	3年
6	阿部 真依	アベ マイ	宮城県	南三陸町立志津川中学校	1年
7	関 萌美	セキ メグミ	兵庫県	神戸市立白川台中学校	2年
8	飯田 理佳	イイダ リカ	茨城県	水戸市立第二中学校	2年
9	齋藤 安那	サイトウ アンナ	茨城県	水戸市立第二中学校	2年
10	菅原 美里	スガワラ ミサト	神奈川県	横浜市立中川西中	3年
11	五十嵐 希	イガラシ ノゾミ	宮城県	大崎市立田尻中学校	2年
12	安原 梨乃	ヤスハラ リノ	宮城県	大崎市立田尻中学校	3年
13	杉山 史織	スギヤマ シオリ	宮城県	大崎市立田尻中学校	2年
14	田中 桜来	タナカ サラ	宮城県	大崎市立田尻中学校	2年
15	長田 悠希	ナガタ ユウキ	徳島県	鳴門教育大学附属中学校	3年



熱心に競技に臨む参加者たち



熱心に競技に臨む参加者たち

11. 入賞者

順位	氏名	件名	宛先	学校名	学年
1位	山口 小百合	大切な母	茜さん	神栖市立神栖第一中学校	3年
2位	安原 梨乃	大切な言葉	友人	大崎市立田尻中学校	3年
3位	菅原 美里	大切ないのち	友達	横浜市立中川西中	3年



表彰



上野調査官による講評

12. 入賞作品

【第一位】

氏名： 山口 小百合

学校名： 神栖市立神栖第一中学校

学年： 3年

件名：大切な母 宛先：茜さん

本文：

こんにちは。神栖一中の山口小百合です。
今日は私の大切な人について茜にメールを
書こうと思います！

私は生まれてすぐに病気にかかったの。
そのときは死ぬかもしれないってお医者さんに
言われていたみたい。私の大切な人っていうのは
お母さんなんだけど、そのお母さんが
私のことを思い続けて、看病し続けてくれたから
今生きていられるんだとを感じるんだ！
親って大変だなってすごく思う。
なぜかっていうと、今に至るまでに沢山
辛い事があって苦しい事がある中で、
私のことを愛情を持って育ててくれたから。
すごく尊敬するし、すごく大好きなんだ（＾＾）／

私自身、親にはすごく心配をかけているし、
苦労ばかりさせているなって感じるんだ。
今は受験生で、受験のことについてよく
話をするんだけど、毎回まとまらずに
お母さんを困らせてる気がするんだ…。
茜はそんなことない？私は心配させたくないのに
心配させちゃう自分が嫌なんだ（；ー；）↓↓
だからね、本当にお母さんのためにも
頑張らなくちゃ！！って思って塾でも家でも
勉強を頑張ってるんだよ！♪
今までいっぱい苦労をかけてきてるお母さんには
私に向けて笑顔を見せてほしいんだ☆！！
最近はある程度笑った所を見てないから
なんだか心配でさ…。私たち家族のために
家事も仕事も朝から晩まで一生懸命頑張ってる
お母さんを見ると、なんだか少し申し訳なく

なる時があるんだ。だからね、少しでもお母さんを
喜ばせられるように私受験頑張るよ★！

茜にとってお母さんってどんな存在？（＾＾）
私にとってお母さんはかげがえのない存在かな♪
茜にも大切な人がいるように私もとっても
大切な人が居るんだっ！！
これから先も家族が皆で笑って過ごせるような
環境を自ら作っていききたいな☆

もし良かったら茜の大切な人についても
教えてほしいな（＾＾）／♪
茜が誰をどんな風に大切に思ってるのか
私も話してるうちに知りたくなっちゃった（^o^）

明日からの学校も大切な人のために
頑張ろうって思えたらきっと楽しく
過ごせると思うんだっ♪そう思わない？
だから私は毎日そんな気持ちを持って
頑張るんだ☆！！きっと誰かのために
頑張るってすごい大切なことだよね！
やろうとしても実際にできる人は
少ないかもしれない…。だからこそ
私は自分のためだけでなく他人のために
動いてみようと思った。挑戦する気持ちは
大切だからね（＾＾）／
茜とはすごく仲がいいからこんな話も
出来るんだ♪もっともっとお互いの
良い所を見つけ合って絆を深めていけると
いいなって思うよ！！

明日は学校だねー（^o^）
勉強ばかりで疲れちゃうだろうけど
たまには息抜きしながら一緒に
志望校合格目指そうねっ☆
目標のために今は一生懸命頑張ろう♪
それじゃあ、明日元気で学校来てね（*^-^*）

またね、ばいばい☆

（本文約 1329 文字）

【第二位】

氏名： 安原 梨乃
学校名： 大崎市立田尻中学校
学年： 3年
件名：大切な言葉 宛先：友人
本文：
友人へ

こんにちは（^^）

突然なんだけど最近私、「命」について
考えるように、なったんだ。
テレビとか新聞とかで、前より沢山
殺人事件の話を書くようになったから。

「命は大切」って皆言うけど
『どうして大切なのかな〜？』とか、
考えるようになったんだ。

殺されて、失われる命もあれば、
自分で命を絶ってしまう人もいるでしょう？

それで最近思ったのが
「言葉の大切さ」なんだ。
言葉って大切だと思うのっ！
たった一言で傷つけちゃうし、
それによって、命を絶ってしまう人がいる、
命を絶とうとしている人がいる。
それって「無視出来ない事」だと思うんだ。

今は、携帯電話やパソコンから
掲示板に悪口とかを、書く人もいるでしょう？
私も書かれた事があるんだあ…。
『死ね』とか
『学校来んな！』
とか毎日書かれて…。
だから、掲示板とかに悪口を書かれた人の気持ちが
すっごく分かるの。

『誰が書いたのか』とか、
『どうして書いたのか』とか、
すっごく考えちゃって…。

だから「言葉」って大切だと思うんだ。

「言葉の伝え方」によって
悪く理解されちゃうでしょう？
だからといって、『死ね』は
言っちゃいけないと思う。

『死ね』っていう、たった2文字で
傷つけられて、
命を絶ってしまう人がいるんだよ…！

「命」を絶つ、奪う事は簡単。
でも、
「命」を救う事は難しい、
って私は思うんだ。
だから、一人一人が
「命の大切さ」、「言葉の大切さ」を
理解して、支え合っていかなきゃ
いけないんだと思うっ！

「ありがとう (^▽^)」 「頑張ろう ㊦ ^ ω ^ ㊦」
それだけで、人って安心するし
「支えられてるんだっ！」
って、実感するんだと思う！

「人は一人では生きていけない。」
だから、一人一人が
みんなの事を考えて、支え合う。
難しい事だけど、
それだけで、命は救えると思うんだ。
だから、みんなで支え合って
楽しく生きていこうね。

「命」は大切なんだよっ (* ^ ω ^ *) ！

安原梨乃

(本文約 931 文字)

【第三位】

氏名：菅原 美里

学校名：横浜市立中川西中

学年：3年

件名：大切ないのち 宛先：友達

本文：

私、中学1年生の時に持病で手術したんだ。

私はとても軽い持病だったから、3日間の短い病院生活だったけど、その時に、驚くことがたくさんあったの。

その事を今日伝えようと思ってメールをするね。

私はまだ中学1年生だった事もあって、入院した部屋は小さい子供専用の「小児科」の部屋だった。そこには小学校2年生の子や、一番小さい子だと4歳位だったかな。そこは5人部屋で最初はとてもびっくりして、「何で私が小児科の部屋になんか・・・。」って思ってた。

でも、私よりも小さな子供たちはみんなとても元気で、

「お姉ちゃん、お姉ちゃん」って寄ってきてくれた。

折り紙の折ったものをくれる子がいたり、

「遊ぼうよ」って言って塗り絵の紙を持ってくる子もいた。

みんながあまりにも元気で、ここにいる子供たちがみんな病気で入院している事を忘れるくらい、みんな元気な笑顔で遊んでた。

そこはまるで幼稚園みたいだったの（笑）。

でも、その中には学校に2ヶ月以上通えないでいる子や、1年間もずっとその部屋に入院している子がいるって事を後で知った。あの子供たちは、とても楽しそうに見えたけれど、本当はとても寂しかったのかもしれない。その寂しさを紛らわすために、あんなにはしゃいでいたのかな・・・。

そんな私が手術を終えた2日目の夜、ある事件が起こったの (><

小学校2年生の子供のお母さんが病院にやってきた。

そのお母さんがやってきたとき、部屋にいる子供たちはみんなではしゃいでいた。幼稚園のようにワイワイと・・・。

そうしたら、そのお母さんはいきなりその子供に向かって怒りはじめたの。「私は一生懸命あなたの病気を治すために働いていてお金も家計も苦しいのに、どうしてはしゃいでいるの。病気を治そうという気持ちはないの！？おとなしくしていなさい。」

って、1時間以上もその部屋で怒り続けていた。きっとその子はお母さんに会えて嬉しかったはずなのに・・・。

この時、私はなんて幸せだったんだろう。特に病気もせず普通に平凡に家で暮らしていて、学校にもいけずに親とも一緒にいられずにこうやって過ごしている子供たちの事を考えたことはあっただろうか。普通に学校生活を送って、そして生きていることが当たり前だった私にとって、この出来事はいのちと、普通に暮らしている事の幸せさを教えてくれた。

「自殺」という言葉を聞く機会がとて多いけれど、自殺をするなんてなんて事をするのだろう。自分から命を絶つなんて、今、どこかで一生懸命病気と闘って生きている子供たちに、なんといいのだろうかと思ったんだ。

そんな子供たちのためにも、今の日々を一生懸命に過ごしていきたいと思った。そして、自ら命を絶つことは絶対にならないと思ったんだ。

長い文章を読んでくれてどうもありがとう。ちょっと重いお話になっちゃったけれど、

(本文約 1303 文字)

13. 資料

決勝課題（メール画面）

あなたへのメールコンテスト 第Ⅲ類情報発信（試行実施）

（制限時間：30分）

学年、宛先、件名を入力して、メール本文を書きましょう。書き終わったら、送信ボタンを押して送信してください。

氏名:	毎パノ花子
学校名:	毎日中学校
学年:	<input type="text"/> 〈例〉2年
宛先:	<input type="text"/> 〈例〉お母さん
件名:	<input type="text"/> 〈例〉大切な弟
課題文:	<p>【課題】</p> <p>“大切な○○”という言葉を使って、あなたの中で大切にしているものについて、誰かにメールを書いてください。 ○○は人でも物でも事でも何でもかまいません。</p> <p>※今回のテーマ「命を考える」にそってメールを作成すること。</p> <p>メールの機能を活かしながらも情報モラルを守り、あなたの思いを書きましょう。</p>
本文:	<div style="border: 1px solid gray; height: 200px; width: 100%;"></div>

文字

受賞者の喜びの声

【第一位】山口 小百合 神栖市立神栖第一中学校 3年

――受賞のお気持ちは？

全国大会という場に出る事自体初めてで、まさか自分が1位になるとは思っていませんでした。名前を呼ばれたときは、何が起きたか分からないほどびっくりしましたが、ホールでの表彰でやっと実感がわきました。

――メールコンテストに参加するにあたりどのような準備をしましたか？

先生のアドバイスでは、動物系が来るんじゃないかという事だったので、過去の事などをおもいだしたりしてたんですが、なかなか思いつかず、悩んでいました。けど課題が大切な人についてだったので、すぐに思いついて書くことができました。

――メールコンテスト参加の準備で工夫したことはありましたか？

電子辞書やメモなどを用意する余裕はなかったのですが、自分なりにタイピングの速さを速くするために頑張れたと思います。

――メールコンテストに参加した感想をお書きください。

北は北海道、南は沖縄までの全国の人が集まるこの大会に出場できたこと、そして今までにない体験ができた事がうれしかったです。ありがとうございました。

【第二位】安原 梨乃 大崎市立田尻中学校 3年

――受賞のお気持ちは？

まさか自分が2位を受賞するとは思っていなかったなので、すごく嬉しかったです。3年生なので最後の大会でいい思い出になりました。

――メールコンテストに参加するにあたりどのような準備をしましたか？

特に練習といったものはしていませんが、普段からメールを出すときに相手の気持ちを考えるということを心がけています。

――メールコンテスト参加の準備で工夫したことはありましたか？

まずは漢字の間違いを減らすように心がけました。また、顔文字の使い方や、レイアウトなどメール独特の表現方法などを工夫しました。

――メールコンテストに参加した感想をお書きください。

「命を考える」と言うことで、課題はすごく難しかったです。今自分が思う「命」についての考えを素直に書くことができよかったです。今回の受賞を機にこれからもメールという情報発信ツールをうまく使いこなしていきたいと思います。

【第三位】菅原 美里 横浜市立中川西中 3年

――受賞のお気持ちは？

とても驚いています。自分が受賞するなど夢にも思っていなかったので、本当にびっくりしています。

――メールコンテストに参加するにあたりどのような準備をしましたか？

私の勘違いで、予選大会のように返信形式だと思っていたのでメモなどは全く何も準備していませんでした。

――メールコンテスト参加の準備で工夫したことはありましたか？

勘違いのために、届いたメールについてその場で考える、と思っていました。なので、自分から送るメールという事を聞いた時は、本当に焦りました（笑 でも、入院した体験談のおかげで無事にメールを書くことができてよかったです。

――メールコンテストに参加した感想をお書きください。

最後のものづくりフェアのとてもよい思い出になりました。ハプニングもありましたが、こうして受賞できて本当に嬉しいです。これからも今回の経験を活かしながら色々な文章をうってみたいと思います。

